

明日香村の幼・小・中一貫教育



幼小中教職員の連携・協力による学校教育の充実

- 幼小中教職員が「明日香村の教育目標」や「めざす子ども像」を共通理解し、連携を密にして情報共有を図る。
 - 指導方法の研究と改善のための研修体制を整え、幼小中教職員の交流活動や合同会議、合同研究・研修によって教職員の資質向上と指導力の向上を図る。
 - 明日香村立学校の教職員であるという意識で、全教職員が連携・協力して教育活動に取り組む。
 - 小学校において教科の専門性を活かした教科指導を行うため、高学年における段階的な教科担任制を導入する。
 - 一貫教育推進のため、幼小中合同の各種会議を定期的に行う。
 - 一貫教育推進委員会：隔週1回、言語力・英語・郷土学習・中期・専門教育各部会：2ヶ月に1回、学校・地域コミュニティ協議会：学期1回、学校支援「協力者のつどい」：年1回
 - 幼小中教職員合同研修会：年4回
- ※平成27年度から、小中教職員全員に兼務辞令を発令している。

明日香村のめざす子ども像

- 郷土を知り、郷土を愛し、郷土に誇りをもち、郷土を語れる子ども
- 夢に向かって、自らの生き方を切り開く意欲あるたくましい子ども

確かな学力

豊かな人間性

健やかな心と体

12年間を見通した一貫性のあるカリキュラムと指導

12年間で「めざす子ども像」に育てる決意

学校・園と教育委員会・関係機関との連携強化

学年の発達に応じたねらいと到達目標の作成

幼小中での子ども理解と指導力の向上

地域の方々の知恵と力を活かした学校支援

幼小中教職員の相互理解と協力

小・中学校における専門教科の指導と協力

学校・地域コミュニティによる学校支援

幼小中一貫教育の取組の重点

1. 学力の基盤となる『基礎的な言語力』の育成・学習規律の確立

すべての教科の学習の土台となる基礎的な言語力（聞く・話す・読む・書く・描く）を身に付けさせ、学力の向上につなげる。そのために、全教職員が子どもたちの言語力を高めるため、互いに情報交換しながら、幼小中を通じて子どもの発達段階に応じた基礎的な言語力の育成に取り組む。また同時に、幼小中を通じて学習規律の確立を図る。

2. 郷土学習の充実

「郷土を知り、郷土を愛し、郷土に誇りをもち、郷土を語れる子ども」を育てるために、「郷土学習プログラム」をもとに郷土学習を実践するとともに、毎年プログラムに修正を加えながら授業改善に取り組む。

また、平成30年度に作成した“前期用”と“中期用”及び令和元年度に作成した“後期用”の明日香村郷土学習副読本を積極的に活用する。

3. 英語教育の充実

幼小中の発達段階に応じた英語力とコミュニケーション力を付け、地域に根ざした「国際人」を育成するために、明日香村独自で12年間を見通し作成した「CAN-DO リスト」をもとに、英語教育の充実に取り組む。

平成26～29年度文部科学省外国語教育強化地域拠点事業の研究指定の成果を、学習指導要領につなぎ実践する。

4. 専門性を生かした教育の充実

中学校教員が年間を通して小学生を指導したり、小学校専科教員が中学生を指導したりするなど、教科の専門性を生かした教育を推進する。

今年度は、5,6年生の理科・図画工作・家庭・音楽と、6年生の数学（T.Tとして）を中学校の教員が指導している。さらに、小学校専科教員（英語科）が中学校2年生を指導している。

5. 豊かな人間性と健やかな心身の育成

自分を大切にすると共に他人も大切にすると人権感覚を身につけ、正しく判断し、行動する力と健やかな心身を育てるために、子どもの基本的な生活習慣、規範意識、自尊感情の醸成と、体力・運動能力の向上に努める。

明日香村の特色ある教育

英語教育の充実

村費で英語指導助手（ALT）2名を雇用。

幼…週1回2時間（4歳児・5歳児各1時間）の「英語活動」を実施

小…1～2年で年20時間の「外国語活動」を実施
3～4年で週1時間の「外国語活動」を実施

5～6年で週2時間の「英語科」を実施
中…全学年で週5時間の「英語科」を実施

国際交流教育の推進

★海外への中学生派遣事業

①南オーストラリア州 アデレードへ

「明日香の風」と命名し、約10人の中学生を派遣する。（8泊10日ホームステイ）



明日香の風

②韓国 姉妹都市韓国扶餘郡の視察研修及び学校訪問を「日韓のかけ橋」と命名し、約10人の中学生を派遣する。（2泊3日）



日韓のかけ橋

★外国からの教育旅行・視察を受入れて交流主に小中学校で児童・生徒との交流を実施

郷土学習プログラムの実践



平成29年度より、明日香の「歴史・伝統文化・自然・くらし」の4つをテーマに、前期～後期までの12年間を通じた「郷土学習プログラム」の実践に入っている。

特に、後期（中学3年）では、「これからの明日香村の有るべき姿」を明日香村に提言する生徒の育成を目指している。

【前期（幼稚園）】

郷土明日香に触れ・感じる段階

【前期（小1年～4年）】

郷土明日香の特色に気付き、学んだことを表現する段階

【中期（小5・6年、中1年）】

郷土明日香の魅力を捉え、その魅力を広く伝える段階

【後期（中2・3年）】

郷土明日香を深く探究し、これからの明日香のあるべき姿を自分らしく創造し、広く村民に提言する段階

特別支援教育の充実

支援を要する児童・児童・生徒のために、村費による支援員を配置している。

小学校…4名

中学校…1名

教育支援委員会に幼小中の教職員と校医だけでなく、臨床心理士、健康づくり課の保健師、明日香養護学校の専門職員も参画し、就学前からの把握と支援・助言にも力を傾注している。



総合型地域スポーツクラブ「NPO法人楽スポあすか」との連携

専門性を生かした基礎体力づくり、継続した体育指導を目指している。

〈幼・小・中学校出前教室〉

幼稚園

- ・体操（年中・年長）
- ・ボール蹴り
- ・ボール投げ
- ・ボールドリリング（年長）

小学校

- ・体育科学習（低学年）
- ・ボールドリリング（全学年）
- ・走り方教室（全学年）

中学校

- ・柔道（1・2年）
- ・ダンス

〈短期教室〉

- ・小学生夏休み水泳教室
- ・小学生走り方教室 など

〈中学校みなし卓球部〉

- ・学校部活動に準じた活動を実施

〈1年生わくわく教室〉

- ・体を動かそう
- ・作ってあそぼう

